



2020年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年3月13日

上場会社名 株式会社 オービス

上場取引所 東

コード番号 7827 URL <http://www.orvis.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝

TEL 084-934-2621

四半期報告書提出予定日 2020年3月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の業績(2019年11月1日～2020年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	2,001	9.7	24		8		5	
2019年10月期第1四半期	2,216	24.3	33		49		19	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	3.00	
2019年10月期第1四半期	11.31	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年10月期第1四半期	14,305	3,536	24.7	2,042.98
2019年10月期	14,402	3,567	24.8	2,060.93

(参考)自己資本 2020年10月期第1四半期 3,536百万円 2019年10月期 3,567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期		0.00		20.00	20.00
2020年10月期					
2020年10月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年10月期の業績予想(2019年11月1日～2020年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,828	1.7	147	255.0	114	1,330.3	98	59.9	56.91
通期	10,248	7.1	426	409.2	361	1,714.0	288	26.7	166.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年10月期1Q	1,732,000 株	2019年10月期	1,732,000 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2020年10月期1Q	1,178 株	2019年10月期	1,178 株
-------------	---------	-----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年10月期1Q	1,730,822 株	2019年10月期1Q	1,730,897 株
-------------	-------------	-------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(追加情報)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2019年11月1日～2020年1月31日)のわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続くなか、製造業の生産や設備投資の一部に弱さがみられてきたものの、企業収益は総じて底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方、長期化する米中貿易戦争の影響や新型コロナウイルスによる肺炎の感染拡大で、世界経済の下振れ懸念が強まるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社は「中期経営計画チャレンジ110(イチイチゼロ)」(2019年11月～2022年10月)の初年度となる今年度は、成長戦略の一層の進展を加速させ、中核事業である木材事業の通期営業黒字化を必達目標として掲げ、業績の立て直しを図る基盤整備の1年といたしております。

その結果、売上高は20億1百万円(前年同四半期比90.3%)、営業利益は24百万円(前年同四半期は営業損失33百万円)、経常利益は8百万円(前年同四半期は経常損失49百万円)、四半期純利益は5百万円(前年同四半期は四半期純損失19百万円)となりました。これにより、純資産は前事業年度末の35億67百万円から35億36百万円となり、自己資本比率は24.8%から24.7%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

(木材事業)

梱包用材等の受注環境は、米中貿易戦争の影響により輸出が減少し、設備投資には一層慎重な動きが見られ、2019年5月の大型連休明けに受注が一気に落ち込んで以降、その後も低調に推移しております。また、各メーカーの工場操業度の低下や競合激化による売価下落等の収益悪化要因も想定され、大変厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、歩留率の改善等には課題が残るものの、前期より取り組んでまいりました既存取引先への深耕営業や販路拡大、シェアアップを見据えた営業活動によって、マーケット全体の受注環境が低迷するなか、製商品の出荷量は前年同四半期比8.4%増加するなど、同業他社との受注競争において健闘しております。また、主原材料のニュージーランド松(ラジアータパイン)につきましては、船舶運賃が燃料油の硫黄化合物(SOx)規制により小幅高で推移しているものの、FOB価格は最大消費国である中国経済の減速に伴い需要が落ち込み、同国において過剰在庫を抱え、その解消に時間を要していることから原木価格は若干弱含みで推移いたしました。

その結果、売上高は14億28百万円(前年同四半期比107.8%)、営業利益は28百万円(前年同四半期は営業損失59百万円)と2018年6月の福山工場稼働後初めて営業黒字に転換いたしました。

(ハウス・エコ事業)

慢性的な労働力不足や原材料費の高騰等による採算性の低下、受注獲得に向けた業者間の競争激化など、変化著しい環境への対応が求められ、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、施工管理体制の強化とお客様本位の積極的な営業活動に注力し、市場の変化を先取りした提案型営業の推進など、各営業施策の強化に努めることで、徹底したコストダウンと顧客満足度の向上に努めてまいりました。また、鉄骨製作工場認定制度に基づくMグレードの資格取得に向けたプロジェクトチームを立ち上げ、今後の受注獲得に向けた新技術や製品開発を積極的に推進し、技術及び品質において更に高い評価をいただける集団づくりに取り組んでまいりました。

その結果、売上高は3億56百万円(前年同四半期比52.3%)、営業利益は8百万円(前年同四半期比23.9%)となりました。

(太陽光発電売電事業)

天候が良好で日射量が多く、売電量が前年同四半期に比べ増加いたしました。

その結果、売上高は83百万円(前年同四半期比101.5%)、営業利益は28百万円(前年同四半期比133.2%)となりました。

(ライフクリエイト事業)

ゴルフ場部門におきましては、例年になく冬季の降雪も少なく天候に恵まれ、良好なコースコンディションを維持し、お客様より高い評価を得ることができたことから入場者数は前年同四半期比4.7%増加いたしました。

フィットネス部門におきましては、月会費が無料となる紹介キャンペーン等を実施いたしましたが、近郊において24時間型フィットネスジムの新規出店が相次ぎ、入会者の獲得は苦戦を強いられました。

その結果、売上高は1億9百万円(前年同四半期比105.7%)、営業利益は14百万円(前年同四半期比225.1%)となりました。

(不動産事業)

賃貸物件の定期的な保守メンテナンス及び住宅設備機器の更新を行うことで入居率及び定着率の向上を図り、引き続き安定した収益の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高は23百万円（前年同四半期比103.6%）、営業利益は15百万円（前年同四半期比112.0%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して97百万円減少し143億5百万円となりました。その主な要因は未成工事支出金が1億3百万円増加し、完成工事未収入金が1億5百万円、機械装置及び運搬具が1億13百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して66百万円減少し107億68百万円となりました。その主な要因は短期借入金が2億25百万円増加し、支払手形及び買掛金が1億10百万円、長期借入金が2億1百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して31百万円減少し35億36百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が29百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期の業績予想につきましては、2019年12月13日の「2019年10月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」において公表した業績予想値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	436,569	457,600
受取手形及び売掛金	1,504,221	1,459,203
電子記録債権	48,072	61,594
完成工事未収入金	1,798,991	1,693,393
リース未収入金	1,001,400	966,994
商品及び製品	96,424	110,915
仕掛品	55,822	96,442
未成工事支出金	51,462	154,567
原材料及び貯蔵品	480,524	500,313
その他	123,374	120,123
貸倒引当金	△594	△512
流動資産合計	5,596,269	5,620,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,684,827	1,658,462
機械装置及び運搬具(純額)	3,491,376	3,378,016
土地	3,042,051	3,042,051
建設仮勘定	2,141	4,108
その他(純額)	348,522	366,605
有形固定資産合計	8,568,919	8,449,244
無形固定資産	56,374	53,564
投資その他の資産		
投資有価証券	65,130	64,046
その他	117,869	119,332
貸倒引当金	△1,831	△1,792
投資その他の資産合計	181,169	181,585
固定資産合計	8,806,463	8,684,395
資産合計	14,402,733	14,305,032

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	727,151	616,460
工事未払金	233,565	303,110
短期借入金	825,000	1,050,000
1年内返済予定の長期借入金	1,079,045	1,082,203
未払法人税等	10,141	6,235
賞与引当金	55,224	27,569
完成工事補償引当金	76	51
その他	1,008,412	990,871
流動負債合計	3,938,615	4,076,502
固定負債		
長期借入金	6,353,233	6,152,035
退職給付引当金	135,225	137,432
役員退職慰労引当金	50,769	—
資産除去債務	7,837	7,852
その他	349,950	395,169
固定負債合計	6,897,016	6,692,489
負債合計	10,835,631	10,768,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,980	684,980
資本剰余金	512,980	512,980
利益剰余金	2,359,710	2,330,277
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	3,556,575	3,527,142
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,172	8,721
繰延ヘッジ損益	353	176
評価・換算差額等合計	10,526	8,897
純資産合計	3,567,101	3,536,040
負債純資産合計	14,402,733	14,305,032

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年11月1日 至2019年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年11月1日 至2020年1月31日)
売上高	2,216,011	2,001,710
売上原価	1,967,558	1,666,633
売上総利益	248,453	335,077
販売費及び一般管理費	281,595	310,233
営業利益又は営業損失(△)	△33,142	24,843
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	562	663
仕入割引	426	173
受取賃貸料	1,200	1,200
その他	2,707	977
営業外収益合計	4,900	3,018
営業外費用		
支払利息	17,181	15,501
その他	4,395	3,455
営業外費用合計	21,576	18,957
経常利益又は経常損失(△)	△49,818	8,905
特別利益		
固定資産売却益	21	16
特別利益合計	21	16
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△49,797	8,922
法人税、住民税及び事業税	2,733	2,738
法人税等調整額	△32,957	999
法人税等合計	△30,224	3,738
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△19,573	5,183

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項
(追加情報)

当第1四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
(役員退職慰労金制度の廃止) 当社は、2020年1月30日開催の第60期定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う退職慰労金の打切り支給を決議いたしました。 これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払分60,093千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,324,806	682,509	82,419	103,646	22,630	2,216,011
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,324,806	682,509	82,419	103,646	22,630	2,216,011
セグメント利益又は損失(△)	△59,214	37,310	21,476	6,256	14,010	19,839

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	19,839
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△52,981
四半期損益計算書の営業損失(△)	△33,142

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	木材事業 (千円)	ハウス・ エコ事業 (千円)	太陽光発電 売電事業 (千円)	ライフ クリエイト 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	1,428,397	356,637	83,653	109,572	23,450	2,001,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,428,397	356,637	83,653	109,572	23,450	2,001,710
セグメント利益	28,240	8,910	28,598	14,083	15,692	95,525

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	95,525
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△70,681
四半期損益計算書の営業利益	24,843

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。